

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	津山陸上競技場		所在地	津山市志戸部245	
敷地面積	99,470.00 m ²		棟数	9 棟 (計画記載対象 2 棟)	
延床面積	3,975.22 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	陸上競技その他スポーツを通じて県民の心身の健全な発達を図るために設置。				
【想定される自然災害】					
予想震度	6弱	津波	—	浸水	—
建築規制	非線引都市計画区域 用途地域なし、建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2016年度)	電気 303,173 kwh	ガス 248 m ³	水道 5,653 m ³	燃料 (—) — 0	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 敷地は、すべて市有地。				

1 施設内建物の概況

名 称	メインスタンド棟	スケート施設棟
築年(西暦)	1994 年	1994 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 1 階
建築面積	1,959.12 m ²	402.75 m ²
延床面積	3,341.79 m ²	402.75 m ²
主要な用途 (室名等)	メインスタンド(5,000人収容) トレーニングルーム 事務室	備品庫 更衣室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機	給排水設備
利用状況	高	高
耐震性 ※1	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—
	中性化 ※3	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

更新時期を迎えた設備等について更新、修繕、改修を行い使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
メインスタンド棟	<ul style="list-style-type: none"> 第2種陸上競技場の公認更新に必要な400mトラック等の改修を行うとともに、観覧席の防水工事を実施する。 設備等の定期更新を実施する。 なお、更新等に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
スケート施設棟	<ul style="list-style-type: none"> 屋根等の修繕を実施する。 設備等の更新、修繕、改修を実施する。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

建築関係では、第2種陸上競技場の公認更新に必要な400mトラックの改修及び観覧席の防水工事をを行う。設備関係は、耐用年数を超過し故障の恐れのある空調設備、防災設備等の更新、改修を計画的に実施する。

(単位: 億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
メインスタンド棟	設備等の大規模改修		400m トラック等 (改修) 2	観覧席防水 1							
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む。)			外壁塗装	場内放送設備	誘導灯	パッケージエアコン	自動火災報知設備	トイレの洋式化	400m トラック等 (改修)	
スケート施設棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む。)			冷却配管	外壁塗装	屋根防水					

4. 概算費用

・総額 4億円(設備の大規模改修等)